

1. 研究の背景と目的

日本における社会問題のひとつに少子高齢社会が挙げられる。人口の流出が激しい地方の都市では著しく少子化・高齢化が進み、青森県三沢市も例外ではない。

また、地方は人口の多い地域に比べ車への依存度が高く、スプロール化して賑わいの少ない都市へと変貌を遂げている。本研究の対象地である青森県三沢市もかつての駅前賑わいや人の温かさに触れる機会が薄れてしまった。そこで、地域の特色を活かし、三沢駅前に様々な地域の人々が魅力を感じて訪れるような設計案を提案する。

2-1. 三沢市の概要

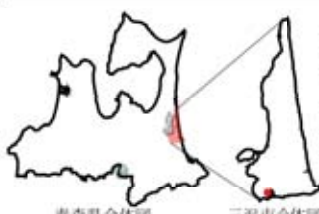


図1 青森県と三沢市の関係

東西を太平洋、小川原湖に挟まれた自然豊かな都市である。農業や漁業において特産品（ごぼう、ながいも、イカなど）が存在する。市内には自衛隊の他、約1万人の米兵とその家族が駐在する三沢基地があり、基地周辺にはアメリカ文化がなじむ。また、約20ヶ国もの人々が生活する国際色豊かな都市でもある。

面積 : 119.87 ㎡
人口 : 39,837 人
世帯数 : 18,825 世帯
(平成29年3月31日現在)

2-2. 三沢市の人口形態



三沢市の人口形態について見ると、人口はこれからも減り続けるが、高齢者は増え続けることが予想される。高齢化率は2015年が23.7%、2035年が32.0%に上り、3人に1人が高齢者となる。

2-3. 対象敷地について

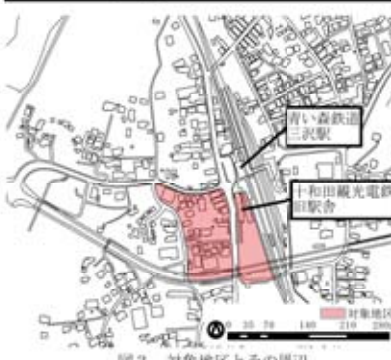


図3 対象地区とその周辺

青い森鉄道三沢駅西口に隣接する十和田観光電鉄旧駅舎がある街区とその西に位置する2区画を対象とする。旧駅舎は現在、バスの待合所、観光案内所、駅そばの利用のみである。それらの区画は駅前商店街として栄えていたが、現在は駅前住民の高齢化が進み、閉店・取り壊しが相次ぎ空き地や駐車場が目立つ。駅前には通学、通勤以外の時間は人影がほとんど見られず閑散としている。

それらの区画は駅前商店街として栄えていたが、現在は駅前住民の高齢化が進み、閉店・取り壊しが相次ぎ空き地や駐車場が目立つ。駅前には通学、通勤以外の時間は人影がほとんど見られず閑散としている。

3. 問題点



1. 旧駅舎の老朽化
旧駅舎の一部しか使用しておらず、老朽化も非常に激しい。住民から絶大な人気の「駅そば」のレトロな雰囲気は残したいという声が多く挙がっている。



2. 駅西口の高齢化と人口流出
市街地とは反対側の西口周辺は住民の高齢化や人口流出のため、閉店や空き地、駐車場が目立つ。西口には生活用品や食品をそろえられる店舗も無い。



3. 駅周辺の交通の道路交通
旧駅舎のそばを走る道路は狭く、傾斜を伴う鋭角な合流のため交通が滞りやすい。旧駅舎の改修を機にこの道路状況も改善する必要がある。

4. 提案

本研究では人口が減少し、廃れてしまった三沢駅西口周辺を再び居住地とし、生活に必要な機能を配置することで都市としての賑わいを生むような設計を目指す。具体的には以下の3つを設計する。

- 「高齢者住宅」
比較的元気な高齢者が居住し、様々なアクティビティを繰り広げる。
- 「日常的交流施設」
食堂や図書室、音楽室など住民の日常生活を豊かにするとともに、周辺の人々も利用したくなるような施設を設計する。
- 「商業・交流施設」
十和田観光電鉄旧駅舎の場所に配置する。三沢駅を利用する来訪者が三沢の魅力に触れたり、体験することができる。また地元から愛される駅そばはそのまま残す。地域住民が利用する日用品店も設ける。

5. コンセプト

- ・互いに関わり合える
近隣住民と近い距離で生活する。挨拶や庭の手入れなどで頻りに顔を合わせたり、一緒に食事したり、同じ趣味に没頭するなどして家族のように関わり合いながら生活する。
- ・地域内で生活できる
車で市街地まで買い物に行かなくても、歩いていける距離に生活に必要な機能がそろっていることで高齢者や地域の住民にとって生活しやすい。
- ・安全で快適な生活
高齢者が行き来する場所は歩車分離を基本とし、ゆったりとした緑溢れる空間で人々が生活できる。

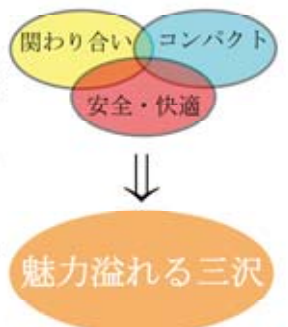


図4 コンセプト図

6. 設計計画

■配置図



■断面図



日常的交流施設

主に地域住民のための施設。高齢者が食事や趣味を楽しみ、地域住民との交流の場として利用される。歩行者が多い場所に面するため開口を多く設け、互いの活動が見えやすい。



高齢者住宅

1つのまとまりは4、5戸の住宅で、南側の庭を囲んで構成する。敷地内は地域の人々の導線として歩くことができるため、日常的な生活をしながら様々な人と出会うことができる。



商業・交流施設

住民と駅への来訪者向けの施設。人気の駅そばはそのまま、直売所と調理場で三沢の新鮮な食材楽しむこともできる。中央の広場は大型の交流イベントも行う。